



絆 きずな



6月



令和7年 6月 2日発行

「ちょっといい話」を募集します

みなさんには辛かった時、苦しかった時にかけられた「言葉」や「行動」に励まされた経験はありませんか。自分の体験など、みなさんの周りにあった心に残る「ちょっといい話」を、200字以内にまとめて応募してみてください。応募作品は啓発資料として冊子やパネルにし、令和7年12月6日(土)に開催予定の「人権啓発フェスティバル in ぎふ」などで紹介されるようです。興味のある人は、右のQRコードから応募してみてください。



ほんの少し相手のことを思う「言葉」や「行動」で周りの空気を温かくしていきたいですね。

※応募期限:令和7年9月5日(金)

心に残った言葉

「つもりちがいの十ヶ条」

大平 隆司 先生

ある時、お寺の門の脇に以下のような十ヶ条くらいの対句になった人生訓を見つけました。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 高いつもりで低いのは教養 | 2 低いつもりで高いのは気位 |
| 3 深いつもりで浅いのは知識 | 4 浅いつもりで深いのは欲の皮 |
| 5 厚いつもりで薄いのは人情 | 6 薄いつもりで厚いのは面の皮 |
| 7 強いつもりで弱いのは根性 | 8 弱いつもりで強いのは我 |
| 9 多いつもりで少ないのは分別 | 10 少ないつもりで多いのは無駄 |

ユーモアあふれる表現が多いと思います。自分にあてはまるものが多くてびっくりしました。皆さんは如何ですか?多かれ少なかれ、人間はみんな自分に甘いものだと思いますが、時にこういう言葉から自分を捉え直すのもおもしろいと思います。言葉にトゲがないので、「だめだ。だめだ」と、劣等感や挫折感に襲われる必要はありません。苦笑して省みるそれでいいものでしょう。

「とにかくやってみなはれ 最初からあきらめるやつは、一番つまらないやつだ」

初代南極探検隊長 西堀 栄三郎

伊藤 圭二 先生

若い頃、「プロジェクトX」という番組を見たときでしょうか。南極研究の第一人者の方の回想シーンで出てきた言葉です。私は自分の能力にあまり自信がなく、新しいことに挑戦するのに躊躇することが多かったのですが、この言葉を聞き、「やりたいと思っていることがあっても、それをやらない今の自分は、西堀さんの言う“つまらないやつ”だ」と思いました。以後、私はやりたいと思ったことは、失敗を恐れずとにかく挑戦できるようになりました。若い生徒の皆さん、あなた方は多くの可能性を秘めています。どうか自分のやりたいことを見つけ、それを実現してってください。



スクールカウンセラーについて

みなさんの悩みを相談できる機会を設けています。予約制です。担任または相談係に気軽に声をかけてください。

【6月/7月の予定】

6月 17日(火) 16:20~18:20

7月 8日(火) 16:20~18:20

